

日米親善春祭りで自衛官募集をPR

神奈川地本厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は4月27日（土）、海上自衛隊厚木航空基地で行われた日米親善春祭りでの募集広報を行った。

これは毎年4月に米海軍厚木航空施設と海上自衛隊厚木航空基地の共催で行われているもので、多くの航空ファンが来場し活況を呈している人気イベントである。この日も季節外れの寒さであったにもかかわらず、約4万人が来場し、普段は入ることのできない基地内の雰囲気存分に味わっていた。

募集広報ブースでは制服や迷彩服姿の陸海空広報官が自衛隊の装備品のパネルを見ながら説明をし、丁寧に対応することで来場者の興味を惹いていた。また、同基地に所属する第4航空群の支援の下、同基地所属のサッカーチーム「厚木マーカーズ」のユニフォームや同基地隊員の有志による阿波踊り「ちどり連」のグッズが展示され、多くの来場者の目を惹かせていた。

更に、昨今の厳しい募集環境を打破しようとする本部長 兼本一海佐や自衛官募集相談員の方も来場者に募集広報シール等を配布して自衛官募集を呼びかけ、興味を抱いた対象者には広報官が親切に受験種目等の説明を行い、多くの募集情報を獲得するなど大きな成果を得ることができた。

説明を聞いた対象者からは「自衛隊の採用種目がこんなにあって知らなかった。仕事の内容や福利厚生の説明を受けて、自衛隊を受験しようと思いました」と嬉しい言葉を聞くことができた。

厚木募集案内所は、「今後も様々な機会を通じて自衛隊の活動をPRし、一人でも多くの入隊予定者を獲得できるように募集活動に励んでいきたい」としている。



募集相談員の三沢氏（左）と本部長（右）（海上自衛隊厚木基地）

小田原北條五代祭り

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、5月3日（金）、「第5回北條五代祭り」において、陸上自衛隊第1音楽隊の音楽演奏支援を受け広報活動を実施した。

この祭りは、戦国時代に北條早雲を祖とし、五代にわたって約1000年の間、小田原を平定した小田原北條の歴史を県内外に紹介宣伝し観光客誘致を図り、中心市街地の活性化と小田原市の発展に結びつけることを目的として開催されている。例年多数の観光客で賑わいを見せており、今年は、約23万人の観衆が見守る中、武者隊の先導役として、第1音楽隊が先頭で小田原市内をパレード演奏し、イベントを盛り上げた。

小田原地域事務所は、イベント会場においてブース出展し、災害派遣活動等のパネル展示、チビッコ迷彩服試着及び制度説明コーナーを設置して広報活動を実施した。

来場者の中には、興味を持って質問する方や「いつもありがとうございます」「頑張ってください」等の労いの言葉を掛けて頂き、大盛況の一日であった。

参加した広報官は、募集の手応えを感じるとともに、今後の募集広報活動の資とすることができた。

小田原地域事務所は、「自衛隊施設が所在しない地域であるが、各種イベントにおいて、地元の関係（協力）団体と連携して募集・広報活動に尽力していく」としている。



ブースに遊びにきてくれた相洋高校（小田原市）和太鼓部のみなさん

